

Common.pm		タイプ Module				
No.	種別	プロトタイプ	パラメータ	戻り値	説明	備考
1	関数	void log_output(message, level="INFO")	string message: ログメッセージ string level: ログ種別.省略可	なし	ログを出力する。出力先は、定数 LOGFILE で指定。	
2	関数	void Assert(express e, string message)	express e : 評価式 string message: メッセージ	なし	評価式の結果が偽の場合、メッセージを表示してプログラムの実行を中止する。	例) Assert(\$x > 0, 'x は正でなければなりません。')
3	関数	void puts([string str])	string str: 表示文字列(省略可能)	なし	文字列を表示して改行する。文字列 str が省略されたときは、改行だけ表示する。	
4	関数	void esc_print(color, text)	string color: 色指定 string text: 文字列	なし	エスケープシーケンス付きで文字列を表示する。	color は文字列 ("red"など)と端末エスケープシーケンスの指定が可能。 例) Common::esc_print("red", "不正な値です。")
5	関数	int count_args()	なし	コマンド引数の数	コマンド引数の数を返す。	
6	関数	string args([int idx])	int idx: コマンドライン引数の番号(0が先頭)省略可能。	コマンド引数の値またはコマンド引数の配列	idx に対応するコマンド引数を返す。idx を省略したときはコマンド引数全体の配列 @ARGV を返す。	
7	関数	void stop([int rc,] string message)	int rc: プロセス終了コード(省略可能) string message: メッセージ	なし	メッセージを表示してプロセスを終了する。終了コードを省略すると、9 が返される。	例) Common::stop(1, "不正な入力です。");
8	関数	int exec(list cmdp)	list cmdp: コマンド要素のリスト	プロセス終了コード	コマンドを実行する。コマンドはリストなので qw/././により渡す。	例) Common::exec(qw/ls -l /home/);
9	関数	string shell(string cmd)	string cmd: コマンド文字列	実行したコマンドの出力文字列	コマンドを実行する。実行結果は実行したコマンドの出力文字列である。	例) my \$s = Common::shell('ls -L /home/pi'); print "\$s\n";
10	関数	string readline(string message)	string message: メッセージ	キー入力された文字列	画面にメッセージを表示してキー入力待ちになる。キー入力は関数値として返される。	例) my \$data = Common::readline("整数を入力 > ");
11	関数	string get_env(string key)	string key: 環境変数名	環境変数の内容	key に対応する環境変数の内容を返す。	例) my \$path = get_env('PATH')
12	関数	bool is_windows()	なし	OS が Windows なら True(1)を返す。	OS が Windows かを判別する。	
13	関数	bool is_linux()	なし	OS が Linux なら True(1)を返す。	OS が Linux かを判別する。	
14	関数	bool is_int(v)	任意の型の変数	変数が整数なら True(1)を返す。	変数が整数かを判別する。	
15	関数	bool is_str(v)	任意の型の変数	変数が文字列なら True(1)を返す。	変数が文字列かを判別する。	
16	関数	bool isset(v)	任意の型の変数	変数がundef(NULL)でないならTrue(1)を返す。	変数が有効な値かを判別する。	
17	関数	bool isnull(v)	任意の型の変数	変数がundef(NULL)ならTrue(1)を返す。	変数が有効な値でないか(undef)判別する。	
18	関数	bool to_bool(v)	任意の型の変数	BOOL(1 or 0)	変数をBOOL(1 or 0)に変換する。	
19	関数	string to_str(v)	任意の型の変数	文字列	変数を文字列に変換する。	
20	関数	int to_int(v)	任意の型の変数	整数	変数を可能なら整数に変換する。	
21	定数	True	-	-	BOOL の true (1)	
22	定数	False	-	-	BOOL の false (0)	
23	定数	ESC_NORMAL	-	-	通常表示	表示エスケープシーケンス
24	定数	ESC_BOLD	-	-	高輝度表示	表示エスケープシーケンス

25	定数	ESC_DIM	-	-	低輝度表示	表示エスケープシーケンス
26	定数	ESC_ITALIC	-	-	傾斜文字	表示エスケープシーケンス
27	定数	ESC_UNDERLINE	-	-	下線付き	表示エスケープシーケンス
28	定数	ESC_BLINK	-	-	点滅	表示エスケープシーケンス
29	定数	ESC_HBLINK	-	-	高点滅	表示エスケープシーケンス
30	定数	ESC_REVERSE	-	-	反転表示	表示エスケープシーケンス
31	定数	ESC_FG_BLACK	-	-	前景色が黒	表示エスケープシーケンス
32	定数	ESC_BG_BLACK	-	-	背景色が黒	表示エスケープシーケンス
33	定数	ESC_FG_RED	-	-	前景色が赤	表示エスケープシーケンス
34	定数	ESC_BG_RED	-	-	背景色が赤	表示エスケープシーケンス
35	定数	ESC_FG_GREEN	-	-	前景色が緑	表示エスケープシーケンス
36	定数	ESC_BG_GREEN	-	-	背景色が緑	表示エスケープシーケンス
37	定数	ESC_FG_YELLOW	-	-	前景色が黄色	表示エスケープシーケンス
38	定数	ESC_BG_YELLOW	-	-	背景色が黄色	表示エスケープシーケンス
39	定数	ESC_FG_BLUE	-	-	前景色が青	表示エスケープシーケンス
40	定数	ESC_BG_BLUE	-	-	背景色が青	表示エスケープシーケンス
41	定数	ESC_FG_MAGENTA	-	-	前景色が赤紫	表示エスケープシーケンス
42	定数	ESC_BG_MAGENTA	-	-	背景色が赤紫	表示エスケープシーケンス
43	定数	ESC_FG_CYAN	-	-	前景色が青緑	表示エスケープシーケンス
44	定数	ESC_BG_CYAN	-	-	背景色が青緑	表示エスケープシーケンス
45	定数	ESC_FG_WHITE	-	-	前景色が白	表示エスケープシーケンス
46	定数	ESC_BG_WHITE	-	-	背景色が白	表示エスケープシーケンス